

## 「趣味の農業講座」と「みうら楽農くらぶ」の歩み

### 1. スタート

①平成10年5月9日 三浦市南下浦公民館の企画として、三浦市教育委員会主催の「趣味の農業講座」が公募され、15名が参加してスタートした。

テーマ：「有効な余暇活動と農作業」（土いじりと野菜と仲間づくり）

②講 師：元平塚農業高校 初声分校教頭 吉野忠男先生

③講義内容：毎月1回の学習 吉野先生手作りのユニークなテキストを教材として  
・自然と植物 ・各種野菜の栽培など

④実 習：地元篤志家の好意により、土地（約500m<sup>2</sup>）の無償提供を受け、10～15名の区画に野菜の栽培実習を開始

⑤諸 活 動：(1) 平成11年1月より「みうら楽農だより」を発刊：平成25年（2013年）  
7月現在153号まで発行  
(2) 収穫祭、野菜の料理教室開催

### 2. 講座の継続

第1期生以降毎年公募し、10～15名の参加者があり、平成14年（2002年）5期生より講師は「みうら楽農くらぶ」のメンバーが吉野先生のアシストを受けながら担当した。平成17年7月（2005年7月）に和田地区に講座専用の実習農場が誕生し、この年に限り8期生を秋に募集し10月から講座を開始した。

同時に講師、指導員とともに「みうら楽農くらぶ」のメンバーが担当することになった。吉野先生の体調が優れなくなった平成22年（2010年）春からは「みうら楽農くらぶ」のメンバーのみで講師、指導員を担当することになり、先生が逝去された平成24年（2012年）からは完全に「みうら楽農くらぶ」のメンバーで講座を運営している。

### 3. 2年間の講座終了後のステップ⇒「みうら楽農くらぶ」への加入

①講座修了者によるサークルを結成（平成11年4月）

②目的は「生涯学習として、健康づくりと趣味の農業の経験を生かし社会福祉のボランティア精神を培う」

③平成 25 年（2013 年）7 月現在の会員数 58 名（男性 52 名、女性 6 名）

#### 4. 「みうら楽農くらぶ」の活動

- ①毎月第 1 木曜日に定例会開催：野菜づくりの情報交換
- ②「趣味の農業講座」の運営：講座の講師担当、実習農場での指導
- ③「親子農業体験教室」の運営
- ④平塚農高初声分校のボランティア
- ⑤堆肥の共同購入

#### 5. 「みうら楽農くらぶ」の活動実績

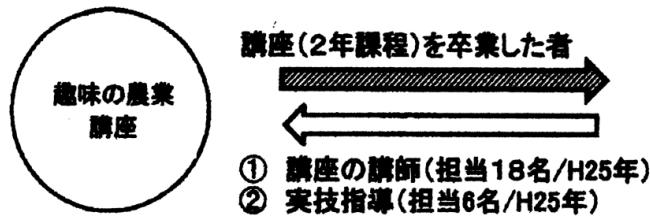
- ①研修旅行 第 1 回：長野県の高原野菜見学 以降神奈川県農業技術センターで学習と圃場見学等実施、第 7 回まで実施
- ②三浦市社会福祉協議会の企画した「高齢者ふれあいひろば」の立上げ完成  
(約 40 区画を平成 12 年 1 月オープン)
- ③実習地変更による開拓
  - ・平成 16 年 4 月 地主の要請による実習地の転地開拓
  - ・平成 17 年 7 月 18 年度以降の「趣味の農業講座」「親子体験教室」実習地として三浦市市有地の整備・・・9 月に完成
- ④社会事業ボランティアとして、菊名、尾上町の休耕地を活用し社協、障害者作業所に作品を提供。
- ⑤「みうら楽農くらぶ」と「農業高校」の交流ボランティア  
平成 12 年、県のたよりに「神奈川県立高校の改革についての提案」が公示され、吉野先生より改革案を教育庁に提案。その後、平塚農業高校初声分校と協議を重ね、平成 13 年度より同校の職員、生徒との交流と学内の圃場での野菜作りを開始し、現在の初声分校公開セミナーの基礎となっている。
- ⑥実習地をはじめ市内 4 か所の緯度の定点観測を実施

## ボランティア活動の状況

楽農くらぶ員は趣味の農業講座卒業生で構成されており、「趣味の農業講座」に対する講師、実技指導をくらぶ員が担当して、後輩の指導に当たると云った自律したユニークなシステムで展開されている。又、「親子農業体験教室」の実習指導、初声農高の「自然と農業」講座に対する圃場のアシストも当クラブ員が交代で担当している。

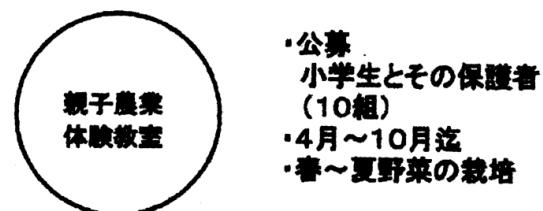
(注) □→ 印 ボランティア活動

### 三浦市 教育(委)主催



- ・公募; 60才以上の受講希望者(市内在住)
- ・4月～翌年3月迄
- 第1・2水曜日: 講座開催
- 第3・4水曜日: 和田実習地にて実技指導  
(春～夏野菜、秋～冬野菜)
- ・年約30名

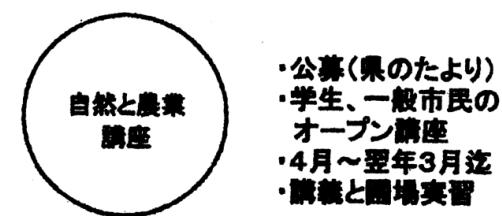
### 三浦市 教育(委)主催



- ① 実習指導  
・担当3名/H25年



- ① 圃場での教師のアシスト  
・担当4名/H25年



平塚農業高校  
初声分校・「自然と農業」講座